

～どうぶつセラピー～



たから新聞

7月

山梨も本格的な梅雨に突入しました！！毎日じめじめした暑さが続いています
皆様いかがお過ごしでしょうか。さてたからセンターでは動物セラピーを行い、うさぎと触れ合
いました。皆さん最初はこわごわと手をだしていましたが、ウサギが近くになると、
「かわいいね～♡」と自然と笑顔になっていました。（*´▽`）
とってもおとなしいうさぎにみなさん癒されました。



かわいいね



動物セラピーとは…

動物とのふれあいによって人の心に癒しを与える事です。ストレス解消につながるなど医療や福祉など様々な分野で取り入れられています。

2022年7月25日
～第76号～
共立介護福祉
センターたから
〒400-0034
甲府市宝 1-4-16
デイサービス
TEL：223-8102
ショートステイ
TEL：223-8103

あじさい見学



きれいだね



みんなで晴れを願ってる坊主づくりを行いました！
そのおかげか紫陽花見学を予定していた日は
晴天となりました！舞鶴城へ紫陽花を見に出かけ、
ゆっくりと花を愛でながらお茶を楽しみました。

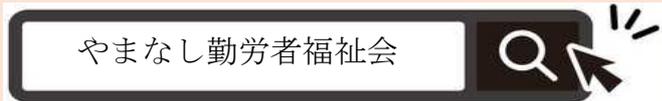
～共立介護福祉センターたから ホームページのお知らせ～

当法人のホームページリニューアルに伴い、各事業所でブログをはじめました。日常の様子やセンターでの取り組みなどお伝えしておりますのでぜひご覧ください。

<https://ykf.or.jp/>



左のバーコードを読み取るか
URL を直接入力してアクセス
してください



気をつけてください、高温・多湿の夏は夏風邪の原因です。

夏風邪は子供がかかるものと思いがちですが、子供からその家族へと感染が広がることがあります。高温多湿の夏は夏風邪の原因となるウイルスや菌が増殖しやすく、かつ夏バテや疲れなどで体力が落ちているときは、高齢者を含めた大人も注意が必要です。疲れを溜めない生活も大切です。免疫力を高めて体をウイルスから守っていきましょう。

夏かぜ症候群 手足口病 ヘルパンギーナ

夏かぜ症候群

夏かぜ症候群について

発熱、身体や手足の発疹、口内炎、嘔吐、下痢などを起こす病気です。ウイルスの種類により、熱だけや発疹、口内炎を伴うなどの違いがあります。結膜炎を起こすこともあります。



治療法は？

ウイルスに対する薬剤はなく、解熱剤、整腸剤などの対症療法で自然治癒を待ちます。ヘルパンギーナや手足口病で口内炎がひどく、**飲食できない場合は、点滴や入院が必要になります。**



合併症は？

熱性けいれん、ウイルス性髄膜炎などが比較的頻度の高い合併症ですが、これらは後遺症を残す恐れはありません。まれに、重症な中枢神経合併症を起こす場合があります。

原因は？

エンテロウイルス属のウイルスが原因です。エンテロウイルス感染症は夏に流行するので、まとめて**夏かぜ症候群**とも呼び、**ヘルパンギーナ**や**手足口病**もその中に入ります。潜伏期間は3～6日です。



エンテロ(腸管) + ウイルス = エンテロウイルス

口から体内に入り、腸の中で増殖することから名づけられました。増殖した一部のウイルスが血液を介して全身に運ばれ、様々な症状を起こします。

予防のポイント

Point

流水での手洗い・うがい

ウイルスを含んだ便、唾液、目やに、咳のしぶきなどを介して、ヒトからヒトに感染します。うがいと手洗いが重要です。特におむつ交換の後など、手洗いをしっかり行いましょう。



できるだけ流水で!

潜伏期間 3～6日 改善まで 数日～1週間程度

【注意すべき点】

「**顔色よいか**」「**食欲はどうか**」

「**眠れているか**」など、全身状態の

変化に気づけるようにしましょう。

